



**KENTANING**

県短の"今"を伝える「KENTANING」  
鹿児島県立短期大学振興会報 vol.42

# 学長挨拶



学長

## 飯干明

1953年宮崎県出身。

2022年4月に鹿児島県立短期大学学長に就任。

専門分野は体育学、スポーツ科学、健康科学、バイオメカニクス

振興会会員の皆様におかれましては、平素より本学の教育・研究活動等にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県立短期大学は、1950年に鹿児島県立短期大学部として開学以来、地域に貢献する人材の育成に取り組んできました。鹿児島県は、令和6年度から5年間を計画期間とする第4期の「鹿児島県教育振興基本計画」を策定し、教育の基本目標を、

「夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり」としています。施策の一つである「信頼され、地域とともにある学校づくりの推進」の中に、「魅力ある県立短期大学づくり」があげられており、施策の方向性として、高度情報化やグローバル化について、時代の要請に対応した教育内容や教育方法の充実などに取り組むこと等が記述してあります。

それをうけて、本学では、カリキュラムの更なる充実に取り組んでいます。まず、高度情報化については、全学必修である情報科目を充実させるため、令和7年度より、政府が推奨する「数理・データサイエンス・AI」のモデルカリキュラムの要素を教育内容に加えます。なお、地域のニーズに対応できるIT活用人材育成を図るため、令和5年より、鹿児島県立短期大学IT活用人材育成プログラムをスタートさせました。

国際化については、ふるさと納税制度による「県立短期大学応援プロジェクト」の寄附金を、令和6年度に、ワイ大学のコミュニティ・カレッジで実施した教養科目「異文化コミュニケーション

ション（英語）」の受講者支援で活用しました。また、スマホで教科外に英語学習できるAI技術を駆使したアプリの導入にも活用しました。なお、文学科英語英文学専攻では、令和7年度より、学生のニーズや学力に対応した新カリキュラムをスタートさせます。

本学における地域の振興・活性化への貢献について、公開講座や奄美サテライト教室、金曜講演会などを実施しており、今後も、積極的に地域貢献の事業に取り組みたいと思っています。なお、本学のホームページで、教員の研究や地域貢献に関する成果をまとめた雑誌「KUROSHIO」のバックナンバーを閲覧できます。

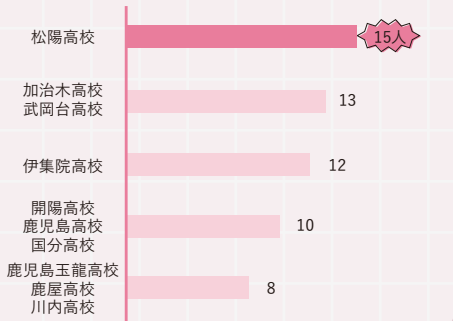
本学の教育環境の整備等につきまして、令和6年度は、振興会にご協力いただき、学生用個人ロッカーを設置できましたことに心より感謝申し上げます。これからも、学生の皆さんの意見を大事にし、振興会の皆様のご理解とご協力を得ながら、魅力ある県立短期大学づくりを推進して参りますので、どうぞ、よろしく申し上げます。

2024年度

# 数字でわかる県短

## 01 出身校

### 出身校ランキング



### 他にはこんな高校から

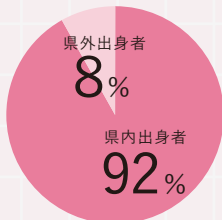
青森明の星、天草、出水商業、出水中央、指宿商業、頤娃、大口、大口明光、大島、大田、沖永良部、鹿児島工業、鹿児島実業、鹿児島純心女子、鹿児島商業、鹿児島城西、鹿児島情報、鹿児島女子、鹿児島第一、鹿児島中央、鹿児島東、鹿児島南、加治木工業、鹿島、加世田、鹿屋工業、鹿屋女子、鹿屋中央、神村、川辺、錦江湾、串木野、串良商業、甲南、国分中央、小林、咲くやこの花、志布志、樟南、曾於、第一、種子島、種子島中央、徳之島、隼人工業、人吉、日向学院、吹上、水俣、三次、都城泉ヶ丘、都城西、宮崎南、明桜館、八重山、屋久島、やまと、夢野台、与論

## 昨年と比べ順位が大きく変化…!?

2024年度は、全国69校から新入生が入学しました。ランキング1位の松陽高校は、昨年度5位(10人)からのランクアップです!昨年度同率5位だった加治木高校も2位となるほか、川内高校、鹿屋高校、国分高校など鹿児島市外の高校からの入学者が増加しました。出身校の割合が1年で大きく変わったことがわかります。

## 02 県内外出身割合

### 県内外出身者割合

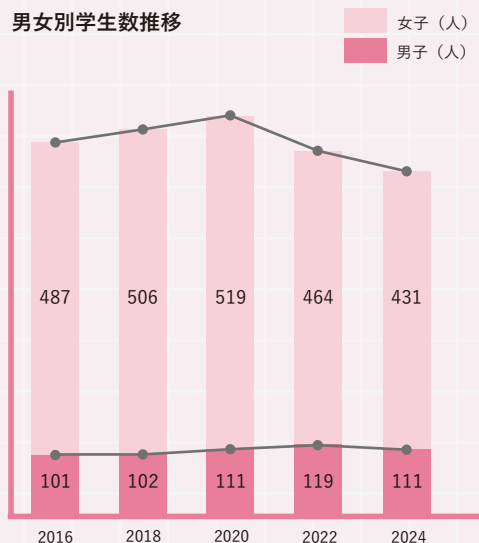


### 青森から沖縄まで!多彩な出身地

県内出身者9割、県外出身者1割という割合はこれまで通りですが、その内訳が変化しています。詳しい内訳は『鹿児島214人、宮崎7人、熊本5人、青森・大阪・兵庫・広島・島根・沖縄1人』です。青森や大阪など、さまざまな地域からの出身者が集まりました!入学者数は減少傾向ですが、県短には新たな風が吹いているのかも!?

# 03 男女別学生数

## 男女別学生数推移



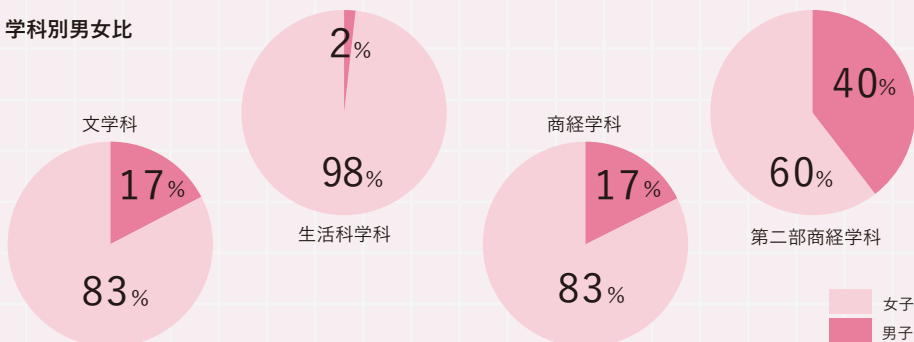
## 安定の男子、変動の女子

2014年度の男子学生の割合は全体の13%ほどでしたが、2024年度には約20%とゆるやかな増加傾向にあります。女子学生数の増減は激しく、全体の学生数に大きく影響しているようです。

## 学科別の男女比は…?

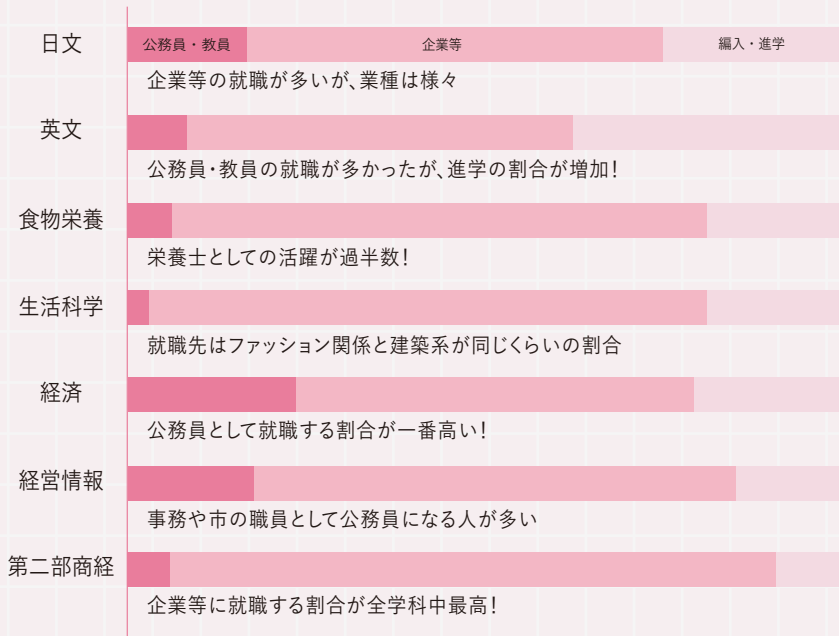
学科別の男女比にはばらつきが見られます。男子学生が最も多いのは第二部商経学科!他学科と比べ圧倒的です。それに対して生活科学科は女子学生がほとんどで、男子学生は2%と稀有な存在…。しかし人数が少ないからこそ、男子学生同士は特に仲が良いように感じられます!

## 学科別男女比



# 04 卒業後進路 (2024年3月卒の場合)

## 専攻別卒業後進路割合



## 進学、留学、それとも…? 卒業後の進路選択、徹底解説!

文学科は例年四年制大学への進学が多いですが、今年度は特に英文の進学割合が多くなっていました。生活科学科は専攻ごとに専門性を活かした進路をとっています。食栄は栄養士としての就職や進学、生活はファッション系・建築系への就職が多かったです。商経学科は毎年金融業・保険業への就職が多い中、今年は公務員の割合が増加。第二部商経学科は編入・進学が少なく、企業等への就職が9割以上でした。

## 2025年度版鹿児島県民手帳のカバーデザインに採用！ 大好きなさつまいもとコンペにチャレンジ



### 直島 美結

Naoshima Miyu

所属：生活科学科 生活科学専攻 2年

生年：2006年生まれ

出身地：鹿児島県鹿児島市

出身校：樟南高等学校 商業科 卒業

作品が2025年版鹿児島県民手帳のカバーデザインに採用された。

県民手帳をデザインするきっかけは

生活科学専攻のビジュアルデザインの講義の課題として提示され、デザインすることになったのがきっかけです。もともと絵を描くことが好きで、デザインにも興味があったので講義を取りました。好きなイラストは、今回の県民手帳のデザインにも生かされている部分があると思います！

デザインにさつまいもを用いた理由はなんですか

さつまいもが好きだからです(笑)家族で毎年芋掘りに行くんです。鹿児島県の特産品はたくさんありますが、私にとって「鹿児島」といえば「さつまいも」です。また、従来の県民手帳はシンプルで、年配の方が購入している印象がありました。若い女性も手に取りやすいデザインにしたいと思いさつまいもをかわいくイラストにしました。

デザインのポイントはありますか

さつまいもは秋のイメージがありますが、県民手帳は一年を通して使うものなので、季節感の強すぎない配色にしたのがポイントです。ピン

クや黄色を用いたポップな色味ですが、手に取ってもらいやすいように、落ち着きと温かみも感じられるデザインになるようにしました。さらに、同じパターンが続いているとつまらない印象になってしまいうので、食べかけのさつまいもや、青虫が顔を出しているさつまいもを混ぜて、眺めるだけで楽しめるように工夫しています。どこに混ぜるか考えるのが意外に難しく、何度も作り直しました…。

— こだわって制作した自身のデザインが採用されたこと知らされた時はどう思いましたか

一番は驚きでした。突然電話で知らされたので、すぐには信じられませんでした…。笑ですが、実際に形になって自分の手元に届いた時に採用されたんだと実感できました！ 今まで県民手帳を使っていたとはなかったのですが、デザインが採用されたことをきっかけに、自分はもちろん家族も使いはじめています。県民手帳の内容には意外と知らなかった鹿児島県の情報が載っていて、読むのが面白いです(笑) コンビ

二などで自分のデザインした表紙が並んでいることもあり、目にする嬉しいうですし、県民手帳が今までよりも身近に感じるようになりました。

— デザインが採用されたことでNHKの取材を受けていましたが、どうでしたか

お話をいただいたときはもちろん驚きました。実際の取材では、緊張してしまい面接をずっと動画で撮られているような気持ちになってしまいました…。NHKから取材を受ける機会などなかなかないので、とても良い経験になったと思います！

— 今後挑戦したいことは

やはりイラストが好きなので描き続けたいです。今は手描きのみなので、デジタルでも描けるようになりたいと思っています。また、生活科学科ではビジュアルデザインだけでなく、建築やファッションなど学べる分野がたくさんあるので、いろいろなことを学んでいきたいです。インタビューにご協力いただきありがとうございます！

## 2025年版県民手帳カバーデザイン

鹿児島県民手帳のカバーデザインの大規模リニューアルに伴い、公募により、集まった約90作品のうち、4作品がカバーデザインとして採用されました。県民手帳は鹿児島県内のコンビニ、書店、文具店で販売されています。



県内勢初!2023年度日経ストックリーグ大学生部門のルーキー賞獲得  
金融の力で鹿児島未来を考える

岩上ゼミ  
Iwakami Lab



所属：商経学科

担当教員：岩上 敏秀 教授

専攻内訳：経済専攻 5名・経営情報専攻 5名

ゼミ生(敬称略)：渡邊、浦門、堀永、若松、加藤、  
横山、豊島、祭禮田、山口、中間

「ゼミで行っている研究や活動は

横山さん 金融や、IR情報(株主や  
投資家に向けて発信する企業自身の  
情報から企業を分析して投資先を  
選定する研究を行っています。

岩上先生 内容としては、グループ  
ワーク(以下、GW)がメインです。それ  
を通じて「考える」、「表現する」がゼ  
ミの目標です。最終的には、鹿児島県  
ならではの課題をテーマに卒業研究  
を行います。その活動は、レポートに  
まとめて、「日経ストックリーグ」(中  
高・大学生を対象とした金融・経済教  
育プログラム)に応募しています。20  
23年度には、県内勢初となる大学  
生部門のルーキー賞を獲得しました。  
今年度はどうのような研究テーマで  
活動されましたか

山口さん 今年、研究チームが2つ  
あります。私たちのチームは、鯉節の  
生産量・質が共に日本一の「枕崎の鯉  
節」をテーマにしました。

加藤さん 私たちのチームは「耕作放  
棄地(過去1年以上作物を作付けし  
ていない耕作地)をテーマにしました。  
土地に詳しい学生がいて、チームで実  
際に調べてみて、土地の活用・再生がで



きるかもと思ったのがきっかけです。

―実際に研究活動をする上で大変だったことはなんですか

加藤さん まず、テーマ決めが大変でした。(笑)どの分野からテーマを

持つてくるか、なかなか決まらなくて。取材のアポ取りも自分たちで全部やるので、準備の部分が大変でした。

横山さん 確かに(笑)でも、GWも大変だったかな。特に役割分担が―苦労で、相談するのもLINE上だとなかなかコミュニケーションが難しいこともありました。(笑)

山口さん 2年生になるとそれぞれ忙しいので、予定もなかなか合わないし、誰かに負担がかかってしまうことも多くなって。(笑)

―そんな大変な中で、GWを円滑に進めるための工夫は

横山さん 締め切り、約束をしっかり守るのだと思います！誰か1人でも守らなかつたらその分作業が滞ってしまうので。(笑)

祭禮田さん あとは自分から積極的に仕事を引き受けたり、無理な時は無理と言つことも大事だと思います。―活動を通して感じたやりがいや嬉

しかったことはありますか

豊島さん カツオの水揚げを直接見たり、競りの説明を聞いたり、現地に行かないと知ることができないことを経験できたことですね。

加藤さん ネットで調べるだけでは分からないことも、現場の方々の生の声を聞くことでより詳しく知ることができたし、メンバーともさらに仲良くなれたのは嬉しかったです。

―最後に、具短の商経学科を志望する高校生にひとことお願いします！

若松さん 商経学科に来るなら岩上ゼミがおすすめてです！進路についても真剣に考えていただきました。豊島さん それに、岩上先生の講義もすごく面白い！投資信託とか、将来に役立つこともたくさん教えてくれるんですよ。

祭禮田さん 商経学科というよりは、岩上先生のおすすめて情報ばかりだね

(笑)  
一同 確かに(笑)

今回のインタビューを通して岩上ゼミのことをより詳しく知ることができました。岩上ゼミの皆さんご協力ありがとうございました。

## フィールドワークの様子

今年度は2つのチームがそれぞれ「枕崎の鯉節」、「耕作放棄地」をテーマに研究を行いました。関連する役所や企業へ学生自らアポを取り、現地取材を通じてレポートを作成するなど、ゼミ生一丸となって研究活動を行いました。



# 「県大祭」・「秋のオープンキャンパス」が 大・大・大 アップデート!!

コロナ明け昨年度2年ぶりに復活した県大祭が  
今年度は更にパワーアップして開催!

令和6年度の県大祭は、音楽を通してみんなで盛り上がる!との思いを込めた"Symphony"をテーマに掲げ、自治会の学生たちにより企画・運営されました。新たな試みの音楽ライブ、数多くの模擬店や学生ステージを目当てに外部からも沢山の方が足を運んでくださいました。これまでにないほどの来場者で賑わった県大祭。その盛り上がりのポイントをご紹介します!



▲ 大盛況の県大祭の様子

## 学生がデザイン“人目を惹く広告”とは?

point **01**



▲ 実際のポスター

今年度の県大祭のポスターやパンフレットは、ビジュアルデザイン研究室の2年生が制作しました。全体テーマの"Symphony"を表現した、かわいらしくポップなキービジュアルが目目を惹きます。制作した学生は、楽しく弾けるような印象を盛り込んでデザインしたと語ってくれました。細部までこだわり作られたポスター・パンフレットは来場者に大好評!ポスターは市バスや県庁など学外でも掲示され、県大祭の注目度アップにも繋がりました。

## 話題のアーティスト スペシャルライブ

point 02

これまでもゲストを迎え行われていたライブステージですが、アーティストによる音楽ライブは初の試みでした。ゲストは大学生にもファンの多い「コレサワ」さんです。先着600席限定の整理券を取るために朝早くから大行列ができ、物販ブースもライブ開始を待たずして完売。多くの方がグッズを身につけてライブに参戦しました！来場者は県短生だけでなく、家族連れや他校の学生など様々。代表曲から最新の曲まで披露され、コレサワさんの魅力がたっぷり詰まったステージになりました。

## 学生自身も楽しんだ模擬店

point 03

コロナも落ち着き、模擬店の盛り上がりも完全復活！ゼミやサークルから出店された多種多様な模擬店は大盛況です！飲食ブースではチュロスなどの軽食が人気を博したほか、温かいお茶やスープを手に一息つく来場者も見られました。射的やくじ引き、占いといった年齢を問わず遊べる体験ブースも豊富です。注目のキッチンカーによる飲食物の販売もあるなか、学生の模擬店も引けをとらない盛り上がりを見せていました！



▲模擬店の様子

## 全学科で初開催！秋のオープンキャンパス

point 04

これまで第二部商経学科のみの開催だった秋のオープンキャンパスが、今年度からは全学科開催となり多くの高校生が参加しました。模擬授業やプレゼントが貰えるスタンプラリーを設置し、県短を丸ごと見学してもらいました。県大祭と同日開催ということもあり、県短生のステージ発表や模擬店などを通じて、より県短の雰囲気を感じられる一日となりました。同日開催で大きな盛り上がりを見せた県大祭と秋のオープンキャンパス。来年度はどのような様子を見せるのでしょうか。期待が高まるばかりです！

# 会長挨拶



会長  
(鹿児島県議会議長)

## 松里保廣

日頃より鹿児島県立短期大学振興会の活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。振興会会長を務めております松里保廣(まつざと やすひろ)です。会長として一言ご挨拶申し上げます。

近年、短期大学を取り巻く環境は厳しくなっているところですが、高等教育の機会を確保することは重要な役割と考えます。県短はきめ細やかな教育を通して、地域に貢献される人材の育成に日々努めておられます。また、県短は地域と連携し、公開講座や金曜講演会など身近な学びの場の提供にも尽力されています。今後も魅力溢れる県短のますますの発展をお祈りしています。

振興会としても、学生生活がより充実したものになるよう精一杯の支援をしていきたいと考えており、前回の振興会報を「好評いただきましたので、本号も引き続き、生活科学科でデザインを学んでいる学生に作成をお願いしました。これからも、会員の皆様にはなお一層のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

## 振興会とは

鹿児島県立短期大学における教育の振興を援助し、地域社会の向上発展に寄与することを目的とし、学生生活がより充実したものになるよう積極的に支援・協力を行う在学生のための後援組織です。会員は学生の父母等であり、その会費を財源としながら、図書館の雑誌・新聞等の購入、資格取得助成をはじめとした就職活動への援助、課外活動や食堂・生協などの福利厚生施設に助成を行うなどの各種事業を行い、その成果が全ての在学生に還元されるよう努めています。

## 全学生にロッカーが新設されました。



この度、振興会からの助成により、学生用のロッカーが増設されました。これまでは、ロッカーの数が足りなかったため、一部の学科の学生のみが使用していましたが、今回の増設により、すべての学生がロッカーを使用できるようになりました。

鹿児島県立短期大学振興会報

「KENTANING」は、  
ホームページでも閲覧可能です。



●発行：鹿児島県立短期大学振興会  
〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷一丁目5番1号

●電話：099-220-1111 ●FAX：099-803-4473

●デザイン、取材、編集 生活科学科 生活科学専攻 ビジュアルデザイン研究室  
2年 永山 愛夏、南新 凜、吉留 真優

●URL <https://k-kentan.ac.jp>